



第3号

向陽 SSH NEWS



平成22年度 第1回SSH運営指導委員会 開催される



6月30日(水)、平成22年度第1回SSH運営指導委員会が開かれました。運営指導委員の先生方、和歌山県教育委員会と本校職員が出席し、会議が進められました。今年度の運営指導委員会委員長の選出では、和歌山大学の石塚教授が引き続き、委員長に選ばれました。その後、向陽高校の事務局より、平成21年度SSH研究開発実施報告や平成22年度事業計画などの説明や質疑応答が行われました。

運営指導委員の先生方からは、最終年度であるため、今までの取組をまとめ直すことやアンケートの充実(中1~高3までの意識の推移)などについて、ご意見・ご助言をいただきました。

運営指導委員の先生方	
★ 石塚 亙 先生	和歌山大学教育学部教授
★ 矢萩喜孝 先生	和歌山大学教育学部教授
★ 島田哲夫 先生	和歌山大学システム工学部教授
★ 坂口和成 先生	和歌山県立医科大学医学部教授
★ 細井美彦 先生	近畿大学生物理工学部教授
★ 岩井一能 先生	株式会社島精機製作所開発エンジニア
★ 李 冬秀 先生	(財)雑賀技術研究所理事
★ 正岡伊久夫 先生	和歌山県立向陽高等学校元PTA会長
★ 北浦健司 先生	和歌山県教育庁学校教育局学校指導課課長
★ 川島秀則 先生	和歌山県教育庁学校教育局学校指導課指導主事
★ 山本直樹 先生	和歌山県教育庁学校教育局学校指導課指導主事



平成22年度 SSH生徒研究発表会に参加 ポスターセッション発表

「ヒューマノイドロボットのZMPと二足歩行の安定度について」



8月3日(火)・4日(水)の2日間、「SSH平成22年度生徒研究発表会」がパシフィコ横浜で行われました。本校からは環境科学科3年生の水越悠人君、岡本啓佑君、和田康嗣君、瀬藤直紘君の4名が参加しました。

発表会前日の2日(月)は、ポスターセッション会場で発表の準備を行いました。今回のポスターセッションでは、「ヒューマノイドロボットのZMPと二足歩行の安定度について」について発表しました。

参加生徒の感想より

「ロボットを研究している人だけではなく、全く違う分野を研究している人からも質問や意見をいただき、新たな発見がありました。」

「他校のプレゼンやポスター発表なども聞くことができ、この研究発表会はとてもよい経験になったと思います。」

「今回の発表から学んだことは、より分かりやすく説明するのに何が必要なのか?ということ。ポスターの色や図の配置などの工夫、模型や実物を用いて発表するなど...達成感はいくらでもないくらいで、うれしかったです。お忙しい中、指導していただいた前川先生や多くの先生方、ロボット班の仲間、どうもありがとうございました。」

「他校の研究発表はとても参考になりました。どのような発表をすれば関心をもってもらえるのか、伝えることの大切さを知りました。各校の特色があり、楽しかったです。この研究は3年目です。」



「まだまだ発展させることができると思うので、後輩の人達に、研究を引き継いでもらえたらうれしいと思いました。」

